

とっぱつせいほっしん 突発性発疹って？



ウイルス（ヒトヘルペスウイルス6型、7型）に感染することで起こるかぜの一種です。3歳までに（特に1歳前後で）かかることが多く生まれて初めての熱の原因になることもあります。

症状 39-40°Cの高熱、下痢などが起こります。熱が下がると同時にピンク色の米粒大のぶつぶつ（^{ほっしん}発疹）が胸から全身に広がっていくことが特徴です。発熱は3-4日程度続きます。熱性けいれんを起こすこともあり、まれに重症化して後遺症を残すこともあります。

突発性発疹になったらどうするの？（治療法）

突発性発疹と診断される時は、^{ほっしん}発疹がでてからであり、それまではかぜとしての治療を行います。高熱が続きぐったりすることもあるので、脱水にならないように水分、食事をこまめにとることが大切です。その他、熱さましなどを飲みます。発疹に痛みやかゆみはなく特に塗り薬などは必要ありません。

いつ治る？

発熱は約3-4日、その他の症状も1週間以内に治ります。発疹は2日程度で治ります。

次に受診するタイミングは？

下記のいずれかの場合は必ず受診してください。

- ✓水分が全くとれない。
 - ✓症状が上記の期間をすぎてもよくなるらない
 - ✓ぐったりして様子がおかしい、ぼーっとしている、目線が合わない、けいれんしている
- その他、診察した医師に言われた受診する目安を守ってください。

保育園、幼稚園、学校はいつから行ける？

- ✓24時間以上発熱がない
- ✓水分、食事が普段通りとれる

上記の状態であれば登園、登校できます。

2024年5月作成